

平成18年度樹立

国有林の森林計画のあらまし (釧路根室森林計画区)

計 画 期 間

【地域管理経営計画】 平成19年4月1日～平成24年3月31日
【国有林野施業実施計画】 平成19年4月1日～平成24年3月31日



羅臼岳と三の沼

【お問い合わせ先】

北海道森林管理局計画部計画課

住所 〒064-8537 札幌市中央区宮の森3条7丁目70番
TEL: 011-622-5241 FAX: 011-614-2652

根釧西部森林管理署

住所 〒085-0825 釧路市千歳町6-11
TEL: 050-3160-5785 (IP)
FAX: 0154-41-7127

根釧東部森林管理署

住所 〒086-1652 標津郡標津町南2条西2丁目1-9
TEL: 050-3161-6675 (IP)
FAX: 0153-82-2284



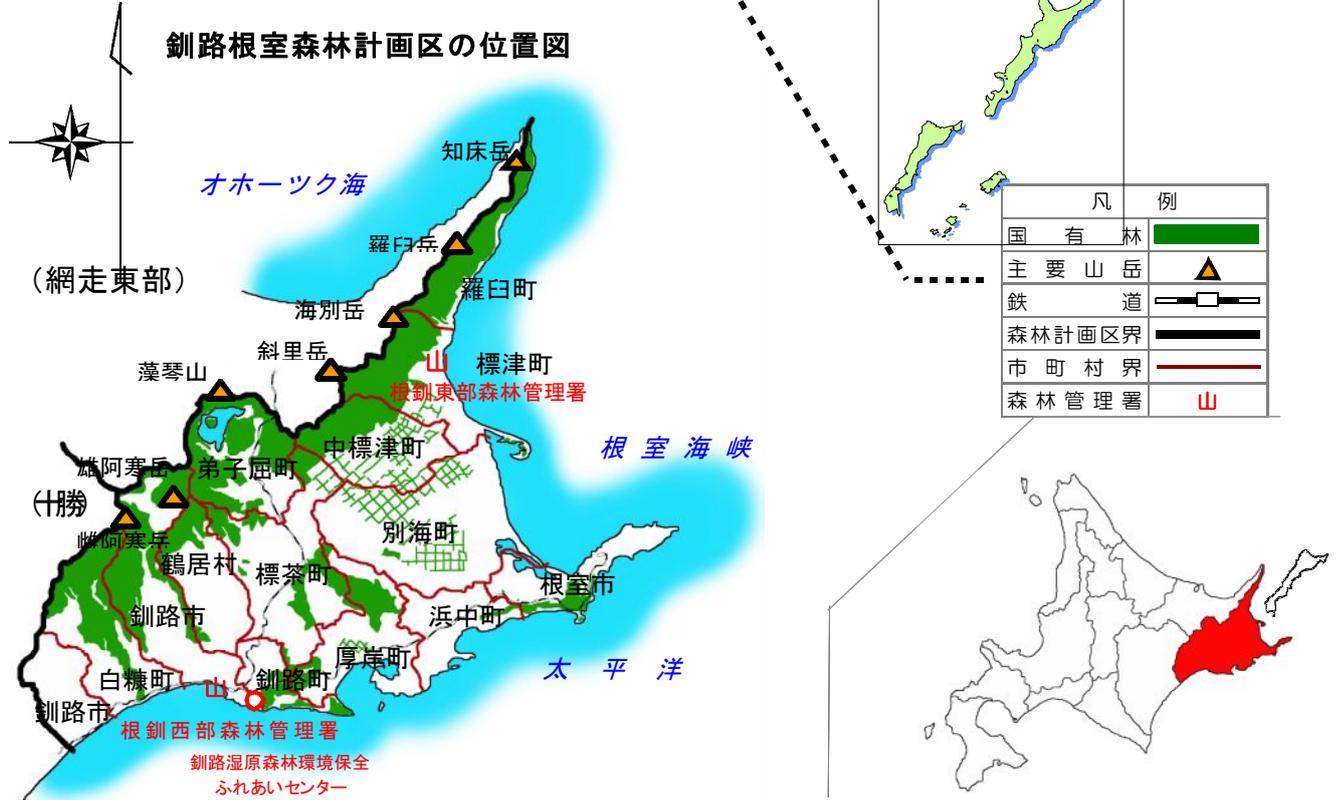
北海道森林管理局

国民の森林・国有林

注:本資料は計画書本体ではなく、計画の概要を取りまとめたものです。

1 釧路根室森林計画区の概要

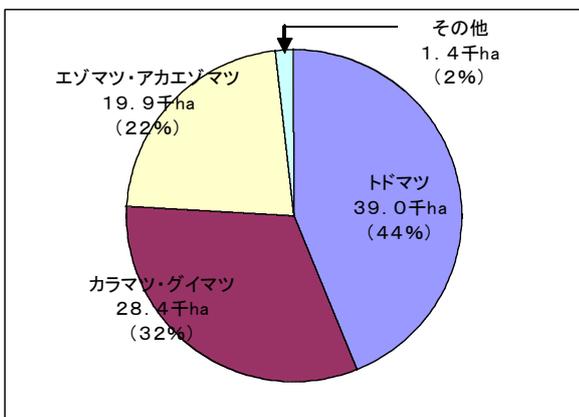
釧路根室森林計画区の国有林の管理経営は、根釧西部森林管理署及び根釧東部森林管理署が行っています。本計画区の国有林野は、釧路市、白糠町、釧路町、鶴居村、標茶町、弟子屈町、厚岸町、浜中町、根室市、別海町、中標津町、標津町及び羅臼町の2市10町1村に広がっており、面積は約28万8千ha（流域総土地面積の31%、流域森林面積の52%）となっています。



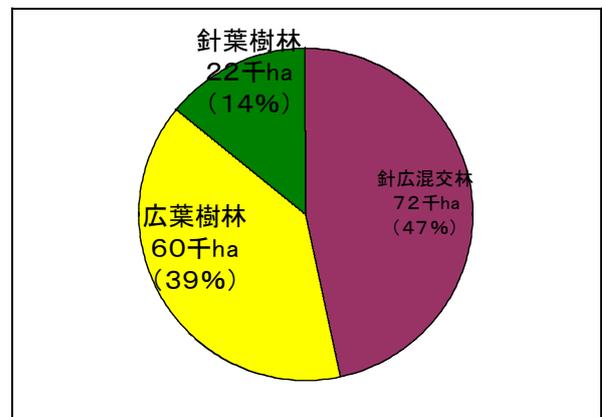
本計画区の国有林野の現況は、育成林が10万5千ha（育成単層林7万8千ha、育成複層林2万7千ha）、天然生林が15万4千haとなっています。森林の約7割はトドマツ・エゾマツを主体とし、カンバ類・ナラ類が混交する天然林で占められ、約3割は昭和30年代以降に造成されたトドマツ・カラマツ等の人工林となっています。

これらの森林は、全体の95%以上が保安林に指定され、厳しい気象条件から農地や市街地を守る防風、防霧保安林を多く有しています。

【人工林の樹種別面積】



【天然生林の林相別面積】



2 森林の働き

森林の働きは、主に次の5つに分けられます。

水源かん養機能

森林は、雨水などを蓄えてゆっくりと河川に流し、洪水や濁水を緩和しています。また、その過程で濁りを抑えたり、水質を浄化しています。

山地災害防止機能

森林は、樹根や下層植生の働きによって、土砂の流出や山崩れなどを防いでいます。



生活環境保全機能

森林は、空気をきれいにし、さらに強風や飛砂、騒音などを防止し、私たちの生活環境を過ごしやすくしてくれます。

保健文化機能

森林は、森林浴やレクリエーションの場を提供し、心身を健康にしてくれます。また、多様な野生生物の生息・生育の場となっています。



木材等生産機能

森林は、環境に優しく、私たちの生活に必要なかつ再生できる資源である木材を供給してくれます。



3 管理経営の基本的な考え方

森林に対する国民の要請は、国土の保全や水源のかん養に加え、地球温暖化の防止、生物多様性の保全、森林とのふれあいや国民参加の森林づくり等の観点から期待が高まるなど、公益的機能の発揮に重点を置きつつ、さらに多様化してきています。

本計画では、こうした国民の要請と期待の下で、本計画区における課題等を踏まえ、

- ① 国土の保全その他国有林野の有する公益的機能の維持増進を図るとともに、
 - ② 林産物を持続的かつ計画的に供給し、
 - ③ 国有林野の活用により地域の産業の振興又は住民の福祉の向上に寄与することを目標として、個々の国有林野を重点的に発揮させるべき機能によって、
- ① 国土の保全、水源かん養等安全で快適な生活の確保を重視する「水土保持林」

② 貴重な自然環境の保全や国民と自然とのふれあいの場としての利用を重視する「森林と人との共生林」

③ 木材の持続的な生産を重視する「資源の循環利用林」

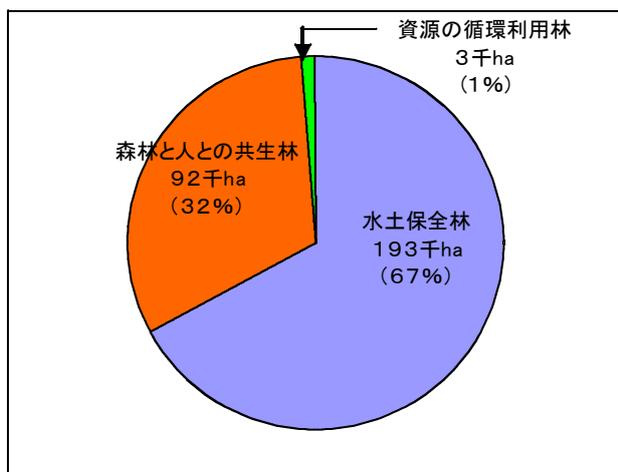
の3つに区分し、それぞれの目的に応じて、「国民の森林」として、国有林野の管理経営に取り組んでいくこととしています。

4 機能類型の現況と機能に応じた管理経営の推進

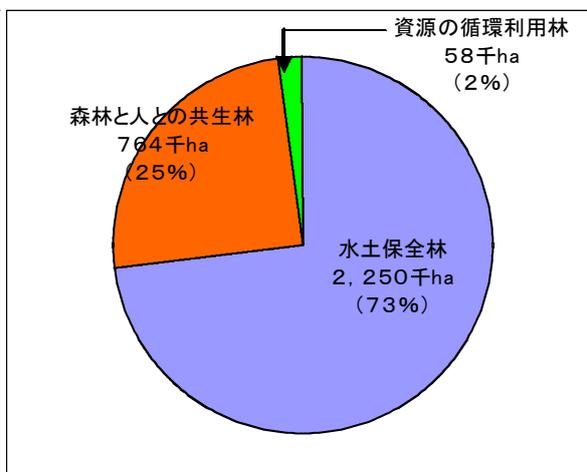
本計画区では、「水土保持林」が約19万3千ha（計画区内の国有林野全体の67%）、「森林と人との共生林」が約9万2千ha（同32%）、「資源の循環利用林」が約3千ha（同1%）となっています。

【機能類型別面積】

【釧路根室計画区】



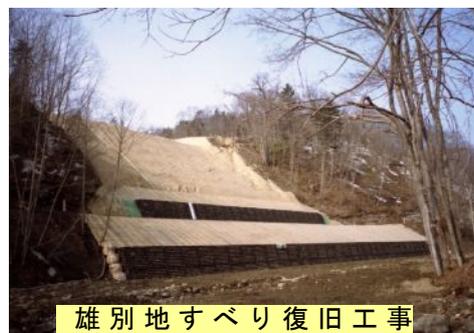
【北海道国有林】



(1) 水土保持林

水土保持林は、その目的によって「国土保全タイプ」と「水源かん養タイプ」に細分しています。

「国土保全タイプ」の森林は、土砂崩れ、土砂の流出等の山地災害や飛砂、潮害等の気象災害を防ぐことを目的として森林施業を行うとともに、必要に応じて治山施設を整備します。また、「水源かん養タイプ」の森林は、渇水や洪水の緩和等を目的として森林施業を行います。



(2) 森林と人との共生林

「森林と人との共生林」は、その目的によって「自然維持タイプ」と「森林空間利用タイプ」に細分しています。代表的な森林として、保護林（29箇所）とレクリエーションの森（13箇所）があります。

「自然維持タイプ」の森林は、特に森林生態系における生物の多様性を図る観点から、良好な自然環境にある森林や貴重な野生生物が生息・生育する森林を対象とし、原則として自然の推移に委ねることとしています。また、「森林空間利用タイプ」の森林は、国民の皆さんに森林浴や野外スポーツなどの活動を通じて森林とのふれあいを体験していただくため、その利用形態に応じて森林施業や施設の整備を



行います。

(3) 資源の循環利用林

「資源の循環利用林」では、国民生活に必要な木材を安定的かつ効率的に供給することを目的としており、木材の生産目標に応じて森林施業を行います。

5 流域管理システムの推進

民有林と国有林、上流と下流が一体となって、地域の森林、林業・木材産業の振興を図る取組を進めるため「国有林野事業流域管理推進アクションプログラム」に基づき、道、市町村、林業・木材産業関係団体等との連携のもとで、①計画的な木材供給の推進、②林業技術の普及・啓発、③下流住民等に対する情報提供、体験活動等の取組を行っています。



低コスト・高効率作業システムに関する現地検討会

「阿寒湖のマリモと水源林の保全に関する森林整備協定」(根釧西部森林管理署)

阿寒湖周辺の民有林と国有林を一体的に整備し、森林の持つ公益的機能を十分に発揮させることにより、阿寒湖温泉街の上水道等の取水源域並びに特別天然記念物であるマリモの生息域についての環境保全を図ることを目的に、釧路市と森林整備協定を締結しています。

6 主要事業の考え方と事業量(平成19年度～23年度の5ヶ年分)

本計画区における、伐採、人工造林等の更新、下刈等の保育、適切な森林施業及び管理に必要な林道の開設等の各事業量は以下のとおりです。

① 伐採総量

区分	主伐	間伐	合計
材積	309,161 m ³	582,236 m ³ (14,134 ha)	891,397 m ³

注) ()は、間伐面積です。

② 更新総量

区分	人工造林	天然更新	合計
面積	4,784 ha	4,108 ha	8,892 ha

③ 保育総量

区分	下刈	つる切り・除伐	合計
面積	28,292 ha	3,485 ha	31,777 ha

④ 林道事業量

区分	開設	改良
(箇所数等)	(15路線)	(64箇所)
延長	44.1 km	110.9 km

⑤ 治山事業量

区分	保全施設(箇所)	保安林の整備(ha)
箇所数等	39	818

7 国有林野の維持と保存

(1) 森林の保全巡視等

森林の保全巡視に当たっては、野生生物の生息・生育状況、森林病虫害や鳥獣害の発生状況、廃棄物の不法投棄の状況、各種標識の設置状況等を把握するとともに、境界の巡視と境界標の確認等を計画的に行うなど、適切な国有林野の保全管理に努めていきます。

さらに、地域住民、ボランティア、NPO等とも連携を図りながら、生物多様性の視点も踏まえつつ、高山植物等の希少種の保護等に努めます。

廃棄物の不法投棄



(2) 森林や希少野生生物の保護

① クマゲラ及びシマフクロウ生息森林

国の天然記念物に指定されているクマゲラ及びシマフクロウ(国内希少野生動植物種にも指定。)の生息環境の保全を図るため、これらの生息状況に応じた森林施業を推進します。

② 知床森林生態系保護地域

全域が世界自然遺産となった知床森林生態系保護地域については、適切な保全管理を推進するため、関係機関等と連携し、利用の適正化や河川工作物の取扱い、被害対策等の科学的な保全管理を行うための調査研究・モニタリング・評価を進めます。



クマゲラ採餌木

③ 自然再生の取組

自然再生推進法に基づく釧路湿原の再生のために、地域住民、NPO、関係行政機関等と協働・連携し、湿原上流の気象害によるトドマツ林の立枯被害跡地において、健全で多様性のある森林づくりに向けた取組を展開します。

8 国民参加の森林づくり

「直接森林とふれあい、森林の豊かさを理解しながら、森林づくりに参加したい」という声に応えるため、フィールドの提供、技術の指導等を行うなどにより国民参加の森林づくりを推進します。

特に、本計画区では、森林ボランティア団体が森林整備体験や間伐材を利用した木工品づくり、山菜料理教室などに取り組み、森林の重要性を地域にPRする活動を行っており、積極的に支援を行います。

ふれあいの森

名称	面積 (ha)	森林管理署
古多糖(ふるさと)の森	10	根釧東部森林管理署



複層林施業試験地での植樹
(パイロットフォレスト)



国民参加による
温根沼周辺的环境保全活動